『Nagoya Linguistics』投稿規程

1．誌名は“Nagoya Linguistics”（名古屋言語研究）とする。

2. 投稿は会員に限るものとする(会員でない場合は,応募と同時に入会手続きをとること)。

3．投稿論文は未公刊の論文であること。ただし，すでに口頭で発表したものなどに相応の修正・加筆を施したものは，審査の対象になる。名古屋言語研究会例会で発表が予定されているものは，発表前の投稿を認めない。

4．使用言語は原則として日本語または英語とする。

5．投稿者は，別途送付する「原稿提出書・同意書」を提出することによって，投稿論文のオンライン公開に同意するものとする。採用された論文は「Nagoya Repository」にて公開される。また，JaLC DOI の登録手続きを名古屋大学附属図書館・中央図書館に依頼する。オンライン公開に不同意の場合には、別に事務局に申し出るものとする。

6．投稿締め切りは，8 月末日とする。投稿論文の採否決定は，本会編集委員会が行う。

7．枚数，書式などは，以下のとおりとし，Microsoft Word での投稿を原則とする。

a．原稿枚数：A 4，14 枚以内（要旨，注，参考文献を含む。要旨は日本語文の場合 400 字程度，英語文の場合 160 語程度）

b．書式

《日本語文》

余白：上 25mm，下 25mm，右 25mm，左 25mm

字数：横書き 40 字×40 行　縦書き 1 頁 2 段組，1 段 33 字×24 行

フォント：MS 明朝（日本語），Times New Roman（英数字）

字のサイズ：14pt 太字（タイトル），12pt（氏名），10pt（所属），11pt（要旨見出し），9pt（要旨本文），12pt 太字（大見出し），11pt 太字（中見出し），10pt（小見出し），10pt（論文本文），9pt（脚注，参考文献）

句読点：横書きの場合，本文の句読点は原則「,」「。」を用いる。「,」の代わりに「、」を用いる場合はこれに統一し「,」との併用を認めない。縦書きの場合，「、」「。」を用いる。

《英語文》

余白：日本語文と共通

語数：横書き 10～20 語程度×40 行

フォント：Times New Roman

字のサイズ：日本語文と共通

c．横書きの場合，原稿の 1 ページ目は，中央揃えの【タイトル】，1 行アケで中央揃え

の【氏名】，同じ行に【所属】（括弧付き。現職にある方は所属機関と職名，大学院生は，所属大学院名，研究科名，所属課程を記す），1 行アケで中央揃えの【要旨見出し】，行を替えて【要旨本文】，1 行アケで【論文本文】を続ける。なお，行間は本文を含め全て 10pt で統一する。

縦書きの場合，原稿の 1 ページ目は，【タイトル】，1 行アケで下揃えの【氏名】，同じ行に【所属】（括弧付き。所属の示し方は横書きに準ずる）を示す。ここまでは段組を入れない。1 行アケで中央揃えの【要旨見出し】，行を替えて【要旨本文】，1 行アケで【論文本文】を続ける。なお，【要旨見出し】より 2 段組とする。行間は本文を含め全て 10pt で統一する。

8. 採用が決定された場合，執筆者は頁×1000 円を負担する。なお，執筆者には，抜刷 20 部を無料で呈する。

9. 原稿提出の際は，原稿の電子ファイル（Word ファイルおよび PDF ファイル）とともに，「原稿提出書・同意書」の PDF ファイル（必要事項記入済・押印済のもの）をメール添付にて提出する。メール添付に不都合がある場合は事務局に相談すること。

10. 原稿の送り先および問い合わせ先

nagoya.gengoken@gmail.com
〒464-8601　愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院人文学研究科日本語学研究室・言語学研究室

（2007 年 3 月 31 日制定）
（2014 年 3 月 31 日改訂）
（2021 年 3 月 31 日改訂）
（2023 年 3 月 31 日改訂）